

宮城県作業療法士会

会員各位

宮城県作業療法士会

特設委員会 特別支援教育推進委員会

委員長 本多 心く代

## アンケートご協力のご依頼

錦秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より宮城作業療法士会へのご協力並びに高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

特別支援教育の進展に伴い、作業療法士等の医療従事者の活用が全国で進んできています。宮城県教育委員会においても、外部専門家活用事業を4年前より開始し、教員のニーズへの助言および指導を目的に特別支援学校へ派遣される作業療法士も増えてまいりました。そこで、平成27年度より特設委員会として特別支援教育推進委員会が発足致しました。教育現場においても作業療法士が子どもたちや他職種のニーズに応えられるよう、地域に根差した支援ができる人材の育成も県士会の役割と

考えております。つきましては、保育および療育、教育といった発達障害領域に関してや県士会の今後の活動の方向性について、県士会の皆様より広くご意見を伺い、実情を把握するため、アンケートに是非ご協力頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

尚、アンケートに関しては、個人が特定されないよう十分な配慮をさせていただき、ご協力頂いた結果については県士会を通してお知らせしたいと思っております。回答方法に関しましては、誠に恐縮ではございますが、FAXにて11月13日(金)までに県士会事務局に送信して頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

<アンケートに関する問い合わせ先>

東北福祉大学 小野 治子

022(728)6074

h-ono@tfu-mail.tfu.ac.jp

FAX 送信: 022-263-0098

宛先: 宮城県作業療法士会 (特別支援教育推進委員会)

発達領域および特別支援教育に関するアンケート調査 (締め切り 11月13日)

以下の質問にお答えください。回答は原則1つ選択肢、番号に丸をつけてください。

A: 発達領域への意識について

1. あなたは、発達領域に興味・関心はありますか？  
①とても興味がある ②まあまあ興味がある ③あまりない ④全くない
2. 現在の職場において、発達領域の対象者を担当することはありますか？  
①頻繁にある ②時々ある ③ほとんどない ④まったくない
3. 特別支援学校で働くことへの関心はありますか？  
①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまりない ④全くない
4. 特別支援学校や発達領域においてどのような関わり方に関心がありますか？  
①常勤で働いてみたい ②非常勤で働いてみたい ③現在の職場以外で、単発で関わってみたい  
④関心はあるが、働いてみたいとは思わない ⑤関心が全くない
5. 発達領域の知識・技術があると仮定したならば、特別支援学校などで働いてみたいと思いますか？  
①とても強く思う ②少しそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない
6. 発達領域のどのような知識・技術を得たいと思いますか？(複数回答可)  
①ハンドリング ②感覚統合 ③呼吸リハ ④シーティング ⑤福祉用具 ⑥制度 ⑦その他 ( )

B: 実務への協力について

1. 外部支援専門家事業 (特別支援学校への派遣) への依頼があった場合、協力可能ですか？  
①是非協力したい ②職場が許可すれば協力したい ③協力したい気持ちはあるが自信がない  
④協力したいとは思わない
2. 特別支援教育領域への研修や人材育成講座が開催された際には、参加したいと思いますか？  
①是非参加したい ②日程があえば参加したい ③参加したいと思わない

C: あなた自身についてお知らせください

1. 性別 ①男 ②女
2. 年齢 ( ) 歳
3. 作業療法士の経験年数 ( ) 年 (2015年 3月時点)
4. 作業療法士以外に持っている資格はありますか？  
教員免許 保育士 幼稚園教諭 介護支援相談員 その他 ( )
5. 現在主な対象としている領域は？  
①身体障害 ②精神障害 ③発達障害 ④老年期障害 ⑤学生 ⑥その他
6. 現在働いている施設形態は？  
①病院 ②老人保健施設 ③訪問 ④養成校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦授産所など ⑧その他

D. 何かご意見があればお書きください。

ご協力、ありがとうございました。